

第115回

このPDFについて

★本テキストは、科目ごとの学習に特化しており、
「人体」「疾病」「小児・母性」「成人」
「在宅・老年・精神」「社会」の計6冊で
構成されています。

★本PDFは、第115回対策テキストの抜粋で
構成しております。

看護師国家試験対策

科目別 強化テキスト

体験版

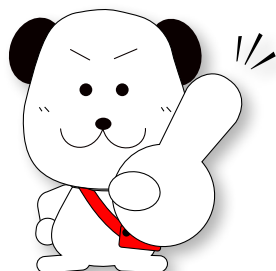
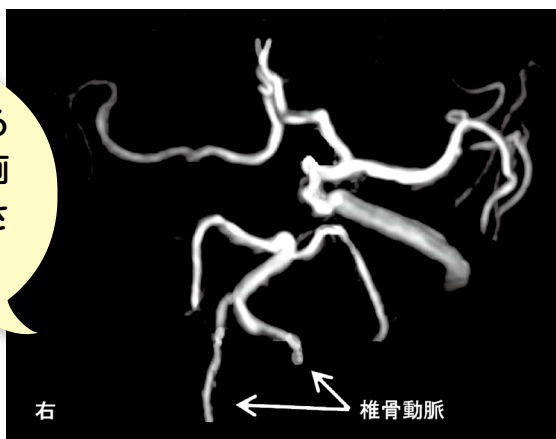


東京アカデミー

問題(一般)

- 8 左上下肢の脱力のため搬送された患者の頭部 MRA (MR 血管撮影) を示す。
閉塞している血管として考えられるのはどれか。

基本事項を確認する
問題やイラスト・画
像問題が多数掲載さ
れています！

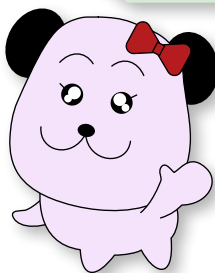


1. 脳底動脈
2. 右内頸動脈
3. 右後大脳動脈
4. 左中大脳動脈

- 9 初回通過効果と最も関係が深いのはどれか。

1. 舌下与薬
2. 血液脳関門
3. 遊離型薬物
4. シトクロム P450 (CYP)

このテキストでは、苦手
の克服から得意の底上げま
で、自分の課題に合わせた学
習を可能にするよ！



- 10 薬剤とその副作用 (有害事象) の組合せで正しいのはどれか。

- | | | |
|-----------------------------|-------|-----------------|
| 1. ループ利尿薬 | _____ | 高カリウム血症 |
| 2. カルシウム拮抗薬 | _____ | 内耳神経 (第Ⅷ脳神経) 障害 |
| 3. スルホニル尿素薬 (SU 薬) | _____ | 低血糖 |
| 4. アミノグリコシド系抗菌薬 | _____ | 聴覚障害 |
| 5. スタチン (HMG - CoA 還元酵素阻害薬) | _____ | 横紋肌溶解症 |

第115回本試験で多く出題
された組合せ問題にも対応。
知識をつなげて考える力を
鍛えられます。

事例 11

次の文を読み 31 ～ 33 の問いに答えよ。

A さん(30 歳、男性、会社員)は、パートナー(30 歳、女性、会社員)とをきっかけに保健所で検査を受け、自身も HIV 抗体陽性となり、HIV 感染症と診断された。A さんは問診で、「パートナーとは 5 年前から交際しています。いつ感染したか、全くわかりません。今特に気になる症状はなく、仕事にも行っていますし、問題なく日常生活を送ることができています。」と答えた。検査の結果、CD 4 陽性 T リンパ球数は $486/\mu\text{L}$ であった。

看護の視点で判断する力を強化する実践的な問題演習で、状況設定問題への対応力を高めます。

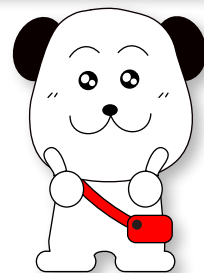
31 令和 5 年(2023 年)の日本における HIV の現状について正しいのはどれか。

1. 新規 HIV 感染者数は、7 年連続で増加している。
2. 新規 HIV 感染者は、50 歳代よりも 30 歳代が多い。
3. HIV 感染者は、女性よりも男性の方が多い。
4. 感染経路として最も多いのは、異性間性行為によるものである。

問題を解くとき、「①自信をもって解けた」「②曖昧で迷ってしまった」「③解けなかった」問題をあらかじめマークしておく、自分の苦手分野が把握しやすくなるよ。②・③に当てはまる問題は、要復習！

32 A さんの現在の状態について正しいのはどれか。

1. 無症候期である。
2. AIDS 期である。
3. 汎血球減少症が生じている。
4. 血中ウイルス量が CD4 陽性 T リンパ球を上回っている。
5. ニューモシスチス肺炎やカンジダ症の発症のリスクが高い。



33 医師から HIV 感染症について説明を受け、抗 HIV 薬とする合剤を 1 日 1 回服用している。

A さんに対する看護師の助言として正しいのはどれか。

1. 「服用し続ければ、完治します。」
2. 「今すぐに医療扶助を受けることができます。」
3. 「薬は毎日決められた時間に内服してください。」
4. 「認定基準を満たせば、身体障害者手帳を申請することができます。」
5. 「服用をしていれば性行為の時に、コンドームを使用する必要はありません。」

ついつい対策が先送りになりがちな状況設定問題。さまざまな出題パターンを集中的に攻略し、得点につなげよう！

抗 HIV 薬は、抗 HIV 薬と抗 HIV 薬を主要



ルが用いられるが、その項目の一つに栄養状態が低下していることが挙げられる。したがって、血清総蛋白値は、褥瘡の発生リスクの指標となる。また、血清総蛋白値が低下していることは、感染症のリスクが高まる。したがって、血清総蛋白値は、褥瘡の発生リスクの指標となる。また、血清総蛋白値が低下していることは、感染症のリスクが高まる。したがって、血清総蛋白値は、褥瘡の発生リスクの指標となる。

3. × 血清中性脂肪(トリグリセリド)は、脂質代謝の指標となる。

4. × アミラーゼはでんぷんの加水分解を促進する酵素である。膵炎や耳下腺炎の診断などに用いられる指標である。

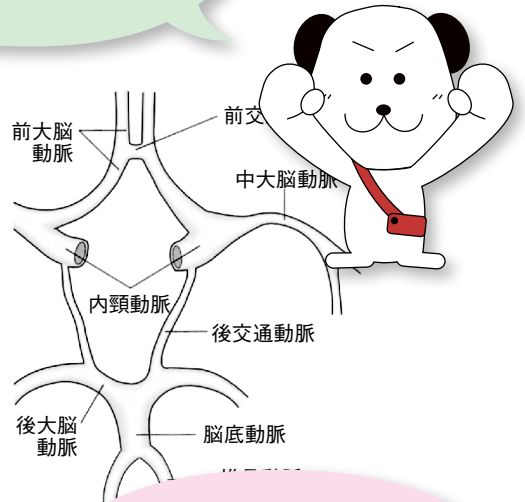
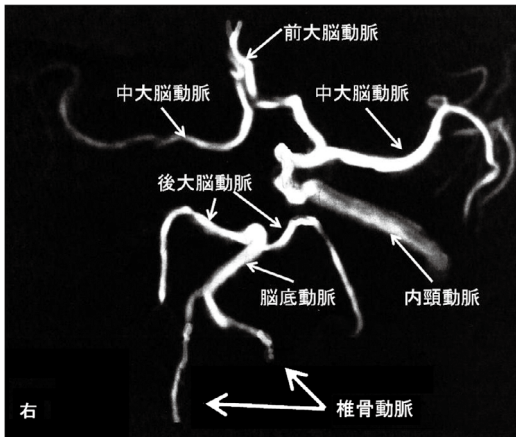
オープンセサミ①P 60参照

図表を用いることで、複雑な知識も視覚的に整理しながら理解を深められます。

膵炎や耳下腺炎の診断などに用いられる指標である。

オープンセサミ①P 60参照

- 8 正答 2 <目標Ⅲ-4-A>
左右の非対称性に着目する。



1. × 脳底動脈は左右の椎骨動脈が合流したもので、この画像には描出されていない。
2. ○ 内頸動脈は、左右の総頸動脈から分岐する左右一対の動脈で、中大脳動脈と後大脳動脈の間にあるはずの内頸動脈および後大脳動脈は、脳底動脈より分岐する左右一対の動脈である。
3. × 後大脳動脈は、脳底動脈より分岐する左右一対の動脈である。
4. × 中大脳動脈は、内頸動脈より分岐して、外側へ向かう左右一対の動脈である。この画像では、左右の中大脳動脈とも描出されているが、左に比べて右中大脳動脈の描出が不十分である。

オープンセサミの参照ページを確認することで、周辺事項も含めて効率良く復習することができます。

オープンセサミ①P 52 ~ 53参照

- 9 正答 4 <目標Ⅲ-4-B>

初回通過効果とは、経口与薬した薬物が小腸から吸収され、門脈を経て肝臓に入り、薬物の一部が肝臓の酵素による代謝を受け、活性を生ずる。その後、全身へ送られて薬効を発揮する。

1. × 舌下与薬は、薬物が門脈を経由せずに、直接全身循環に入るため、初回通過効果を受けず、効率が上がる。
2. × 血液脳関門(BBB)は、循環血液と脳の間で物質の移動を調節する。脳に有害な物質が、初回通過効果とは関係がない。
3. × 血液循環中の薬物のうち、遊離型という。このうち、組織へ移行し、薬物の作用・副作用が強く現れやすい。
4. ○ シトクロムP450(CYP)は代表的な薬物代謝酵素群で、主に肝臓に存在する。肝臓に薬物は、シトクロムP450により初回通過効果を受ける。

選択肢をただ覚えるだけではなく、根拠をもって説明できるレベルまで理解を深めましょう。知識の定着が進み、応用力を高めることができます。

オープンセサミ①P201

事例 11

事例のポイント

HIV 感染症は、ヒト免疫不全ウイルス〈HIV：Human Immunodeficiency Virus〉がCD4陽性Tリンパ球に特異的に感染し、免疫系が徐々に破壊されていく進行性の疾患である。HIV 感染症の経過と合併症、治療について理解しておこう。

事例のポイントでは、解答を導くにあたり、押さえるべき重要事項を明記しています。

31 正答 2

1. × 令和5年(2023年)の新規HIV感染者は669人である。新規HIV感染者数は、近年減少傾向にあるが、今回7年ぶりの増加となった。
2. ○ 新規HIV感染者数を年代別にみると、30歳代(全体の約42%)が最も多い。次いで20歳代(約31%)、40歳代(約15%)の順である。
3. × 令和5年(2023年)末におけるHIV感染者(凝固因子製剤による感染者を除く)を性別にみると、男性21,898人、女性2,634人であり、男性の方が多い。
4. × HIV感染者における推定感染経路の約85%が性的接触(異性間・同性間)であり、同性間性的接触の占める割合(全体の約61%)が最も多い。

HIV感染者・AIDS患者の感染経路別累計数

(単位 人)

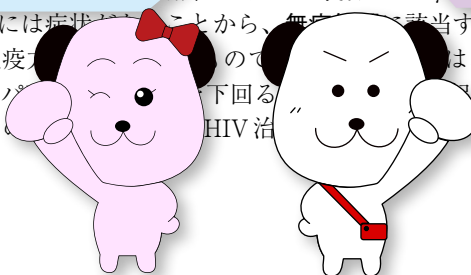
令和5年('23)12月31日現在

	日 本 国 籍			外 国 国 籍			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H I V 感 染 者 総 数	19 446	1 080	20 526	2 452	1 554	4 006	21 898	2 634	24 532
異性間の性的接触	3 436	881	4 317	549	920	1 469	3 985	1 801	5 786
同性間の性的接触※	13 915	4	13 919	1 217	1	1 218	15 132	5	15 137
静注薬物使用	48	2	50	31	5	36	79	7	86
母子感染	18	10	28	9	9	18	27	19	46
その他の	492	42	534	112	35	147	604	77	681
不明	1 537	141	1 678	534	584	1 118	2 071	725	2 796
A I D S 患 者 総 数	8 789	446	9 235	1 151	463	1 614	9 940	909	10 849
異性間の性的接触	2 506	293	2 799	342	253	595	2 848	546	3 394
同性間の性的接触※	4 426	3	4 429	272	2	274	4 698	5	4 703
		4	37	30	3				
		3	13	1	6				
		3	341	42	18				
		1	616	464	181				
		1	440	—	—				

本試験では、状況設定問題の配点は一般問題の2倍なんだ。だから、たった1問の得点が合否を左右することもあるよ。苦手科目を克服して、確実に得点できる力を身につけよう！

問題を解いて終わりにするのではなく、解説を読み込んで、間違えた問題や理解が不十分だった知識を必ず復習しよう！

陽性Tリンパ球数が500/μL未満の状態であるが、現在、Aさんには症状がみられないことから、無症状と見なされる。CD4陽性Tリンパ球数は免疫系の指標の一つで、正常値は500～1,000/μLである。HIV感染者においてCD4陽性Tリンパ球数が低下すると、感染症のリスクが高くなる。CD4陽性Tリンパ球数に関わらず、すべてのHIV感染者に対して、抗HIV治療ガイドライン(2025)。





東京アカデミー